

よみがえれ！  
有明訴訟弁護団  
(後藤富和)発行  
092-894-1781  
090-9602-0700

# 福岡県知事 開門要請 ～長崎県知事孤立～

## 福岡・佐賀・熊本連携

麻生渡福岡県知事は8日、記者会見において「原則、開門調査すべきだ」と答え、農水省に対して諫早干拓排水門の開放を求める考えを明らかにした。

これにより、有明海沿岸4県では、佐賀、福岡、熊本、長崎の各県知事が連携して農水省に対して水門の開放を要求し、水門開放を頑なに拒む長崎県知事ただ一人が孤立する状態となった。

## 沿岸自治体 開門要求

福岡県柳川市、大川市、みやま市、大牟田市の有明海沿岸4市の市長は8日、九州農政局に対し連名で、諫早干拓排水門の開放を求める意見書を提出した。この沿岸4市は、海苔養殖業が盛んな地域で、同日、農水大臣が海苔養殖業への影響を理由に開門に難色を示したのとは逆に、海苔養殖業のために開門をすべきとの見解を示した。これにより大臣が海苔養殖への影響を理由に開門を拒否することは難しくなった。

## 佐賀県知事 農相に直接要求

古川佐賀県知事は8日、農水大臣と直接面会し、開門を要求した。知事は、「開門調査は」多くの県民の共通の願い」とし大臣に対し「今回の判決を重く受け止め、控訴を断念し、早急に中・長期開門調査を実施されるよう強く要請する」と迫った。

さらに知事は「漁業者も、農業、水産業、防災の並列を望んでいる」と述べ、開門が農業や防災を否定するものではないことへの理解を求めた。

## G8 有明の訴えに共感

### 洞爺湖サミット



有明海の漁業者らは3日から5日、G8サミットが開催される北海道を訪れ、有明海の再生を訴えた。漁業者らは、諫早湾干拓を巡る佐賀地裁判決に至る

経緯を写真を使ってパネル展示をし、多くの市民が訪れた。市民らは「福田首相は、サミットでは環境保護をうたっているが、その裏で有明海の環境破壊を続けており、言っていることとやっていることが正反対だ、許せない」「政府は、ギリチンで湿地の気温調整機能を奪っておいで地球温暖化防止を語る資格はない」等と口々に怒りをあらわにしていた。

## 福島社民党首ら激励



この日、福島瑞穂社民党党首や近藤正道参議院議員、紙智子参議院議員らが漁業者らを激励した。(写真は福島党首と佐賀県の漁業者)

## 海外メディアも注目

有明再生の訴えは海外メディアも注目し「本場に日本でこのような環境破壊が起きているのか」「メディアである以上、中立でなければならぬが、何か我々にできることはないか」等と驚きの声を隠せない様子であった。

## 自民議員 開門要求

自民党議員からも開門を求める意見が続出している。ある自民党衆議院議員は自身のブログで、佐賀地裁判決について「いつでも、何に關しても、「官」は自ら行いを改めることができない。この事件を今後更に何年もかけて、最高裁まで争うつもりなのか(略) 国民に指摘され、訴えられた問題について、行政側が非を認めたり処分を改めることに躊躇する心理が、時代遅れの代物である。(略) 地元の多くの漁民を納得させられないまま、非常に長期間経過していること自体が、半ば行政側の失政である」と述べ、頑なに諫早干拓排水門の開放を拒み続ける農水省を厳しく非難した。

## 農水省前に60名の座込

8日、有明海漁業者の農水省前座込みは2日目を迎え60名が有明海漁業者らが参加した。

